

令和7年度生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学大臣表彰）受賞

山中鳴弦会 会長 上田 良成

この度、令和7年度生涯スポーツ優良団体表彰（文部科学大臣表彰）を受賞いたしました。山中鳴弦会の活動が認められ栄えある賞をいただき、会員一同大変名誉なことと慶んでいるところであります。

これもひとえに、石川県弓道連盟会長を始め県連役員・先生方、そして県弓道連盟各協会の皆様のご指導とご支援を頂いたお陰と深く感謝を申し上げます。

山中鳴弦会の起源は明治38年頃とされており、会の名称とともに今日まで連綿として活動が続いています。昭和22年に石川県弓道連盟が創設され、この時に高桑秀男氏をはじめ山中で弓道を続けたメンバーは、積極的に県弓連に参加し弓道の普及と修練に励みました。戦後の荒廃した時代のため道場もないことから、高桑秀男・島崎鉄両氏が中心となり戦前から弓道を続けていたメンバーと努力を重ね、昭和26年10月に木造3人立の弓道場を山中白山神社境内に建設しました。石川県内では護国神社に次ぐ弓道場であり、ここで数々の射会や講習会を開催し弓道普及に努めてきました。その後、平成5年には9人立のゆったりした射場をもつ現在の山中弓道場が完成し、今も道場に弦の音が絶えない活発な鳴弦会の活動が続いています。昭和27年に第1回大会を開催依頼、石川県下で最古の弓道大会である山中鳴弦会北陸近県弓道大会は、令和7年には第68回の大会を開催しており、鳴弦会の月例射会や講習会の開催、さらに高校生以上の老若男女を対象に弓道教室を毎年開催し弓道の普及を図っています。また中学生の参加も受け入れ、社会体育として部活動に認めてもらい教室終了後には一般会員とともに活動を続けています。

今後も頂いた賞を誇りに、弓道の普及発展、後継者の育成による弓道人口の増加に努めていきたいと思っております。皆様には、これまで同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

